



《表現あそび》

じりじりと焼きつくようだった夏の日差しが少しだけ和らぎ、過ごしやすくなってきました。涼やかな風に乗ってやってきた秋の気配に心地良い日もありますね。



8月の活動の様子

輪ゴム絵を作ろう (指先を使う遊び)

先月同様、有孔ボードと木製ダボを使い、今回はカラー輪ゴムを引っ掛けました。ダボが倒れないように1本ずつ刺すことは上手になりました。2本の離れたダボに輪ゴムを引っ掛けると絵柄が出来て行きました。ダボとダボの間隔が狭ければ輪ゴムを引っ張られなくてもかけることができます。取り組んでいくと、間隔の広い所に輪ゴムを掛けたくなってきます。輪ゴムを強く引っ張ると手を離す時が大切です。左右の手をゆっくり離さないとダボが倒れます。そのために手の力加減を自分で身につけていました。でもダボが外れても「もう1回」と言い、挑戦する気持ちが見られたり、「見て、見て」と自信に満ちた言葉が聞かれました。輪ゴムの絵が出来て、顔や形、平仮名など子どもの発想が見られていました。

輪投げ (身体を使う遊び)

紙皿2枚を重ね合わせ、フリスビーにして、的に向かって投げます。紙皿を持つ手の向きや身体の向き、手からフリスビーを離す位置で飛んで行く方向は変わります。先月のボーリング時、片足立ちではどちらの足のほうが安定するかを確認しました。輪投げでも両足そろえるほうがよいのか片足前が出る方がよいのか自然と自分で選んでいる子が多かったです。最初は近い距離で的に狙い、入るようになったら少しずつ遠くしていきました。入るコツを掴むと嬉しくて、「もっと、遠くして」と言いますが、距離が遠くなると手の操作をする難しさもありました。大人でも毎回入りません。目標物に向かって操作する力を身に着ける経験をしました。



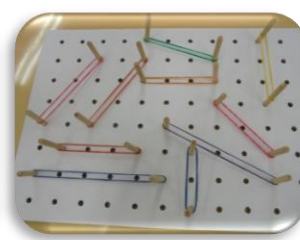
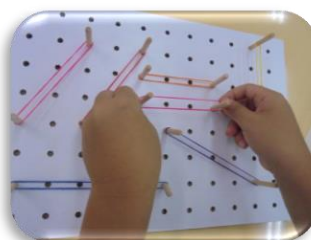
9月の活動予定

- ☆あおむし (足型制作) 9月1週目のみ
- ☆紙皿バランスゲーム (手指を使う遊び)
- ☆ボールあそび (身体を使う遊び)

*手洗いを徹底していますので、ハンカチを忘れないで持って来てください。



《輪投げ》



《輪ゴム絵》

